



# データ カルチャー プレイブック

分析と AI の価値を  
高める方法とは



# 目次

はじめに	03
第 1 章: データ + AI 戦略を策定する	05
第 2 章: データの価値を実現できるようにチームをサポートする	09
第 3 章: データ成熟度を向上させる	12
まとめ	15



# はじめに

このプレイブックの対象読者は、データカルチャーの価値とその構築の取り組み方を知りたいと考えている、ビジネスやデータ、IT のリーダーです。

## 「データカルチャー」の正確な意味とは

データカルチャーとは、組織の変革を推し進めるためにデータや AI の利用を重視、実践、促進する、組織全体の人々の行動や考え方を指します。データカルチャーにより、組織の誰もが直感的かつ生産的なインサイトで、複雑なビジネス課題に取り組めるようになります。

## AI の必須要件とデータの役割

**技術面の意思決定者の 86% が、AI の出力はデータ入力の質に左右されると考えています<sup>1</sup>。**

世界は転換点を迎えています。AI はビジネスに大変革をもたらしており、働き方を根本的に変えつつあります。Coursera 社も、世界的な必要スキルのトレンドのトップとして AI リテラシーを挙げ、適応する必要性を強く説いています<sup>3</sup>。しかし労働力の構造的変革には、単なる組織の変化や新しいツール以上のものがが必要です。データと AI のパワフルな力を最大限に活用するには、人員が組織のプロセスやテクノロジーに対応できるようにしなければなりません。

AI を活用する労働の未来に向けた革新は、とりわけ信頼性とスキル不足に対応する場合、データの重要な役割を理解することから始まります。すでに多くの企業はクラウドアプリケーションに投資しており、データの混沌状態を招きました。そこで浮き彫りになったのが統合と自動化の必要性です。企業は、AI を活用したエクスペリエンスと自律エージェントによる、データや分析のプラットフォームの強化をますます検討するようになっていきます。この変化はデータと分析に対し、2つの重要な面で影響を及ぼしています。それは、AI が生産性と有効性の両方を向上させるということです。

しかし、AI の出力はデータ入力の質に左右されます。データ入力の質の高さを確保し、AI 出力の広範な利用を促進するものが、確固としたデータカルチャーです。そうしたデータの質の高さで、意思決定とイノベーションが加速されます。確固としたデータカルチャーは、データと AI の活用の成功に向けた道を開くのです。データ中心の環境を育成することで、現在のパラダイムシフトを競合他社よりうまく乗り越えられるようになるでしょう。

## ソリューション

### データカルチャー

データカルチャーの構築により、分析と AI の価値を高めることができます。データカルチャーは組織全体で意思決定の質とスピードに変革をもたらすと同時に、データの信頼性と透明性の基盤を作り出します。

データカルチャーの構築には時間や投資、組織全体の取り組みが必要ですが、データと人員を AI に対応できるようにするために確固としたデータカルチャーは欠かせません。このプレイブックは、組織の長期的な成功に向けてデータカルチャーを育成し、維持するための重要なステップについて解説します。

### 確固としたデータカルチャーのメリット<sup>1</sup>

- 1 生産性の向上
- 2 イノベーション
- 3 カスタマーサービスの強化
- 4 自信を持った意思決定
- 5 コスト削減

18.8 倍  
収益性<sup>2</sup>

本書の内容は、強力なデータ + AI 戦略を策定する方法 (第 1 章)、人員が自信を持ってデータと AI を利用できるようにするため継続的な学習に投資する方法 (第 2 章)、データ成熟度を高める方法 (第 3 章) です。

<sup>1</sup>[データとアナリティクスの最新事情レポート](#)

<sup>2</sup>[McKinsey, 5 Facts: How Customer Analytics Boosts Corporate Performance \(英語\)](#)

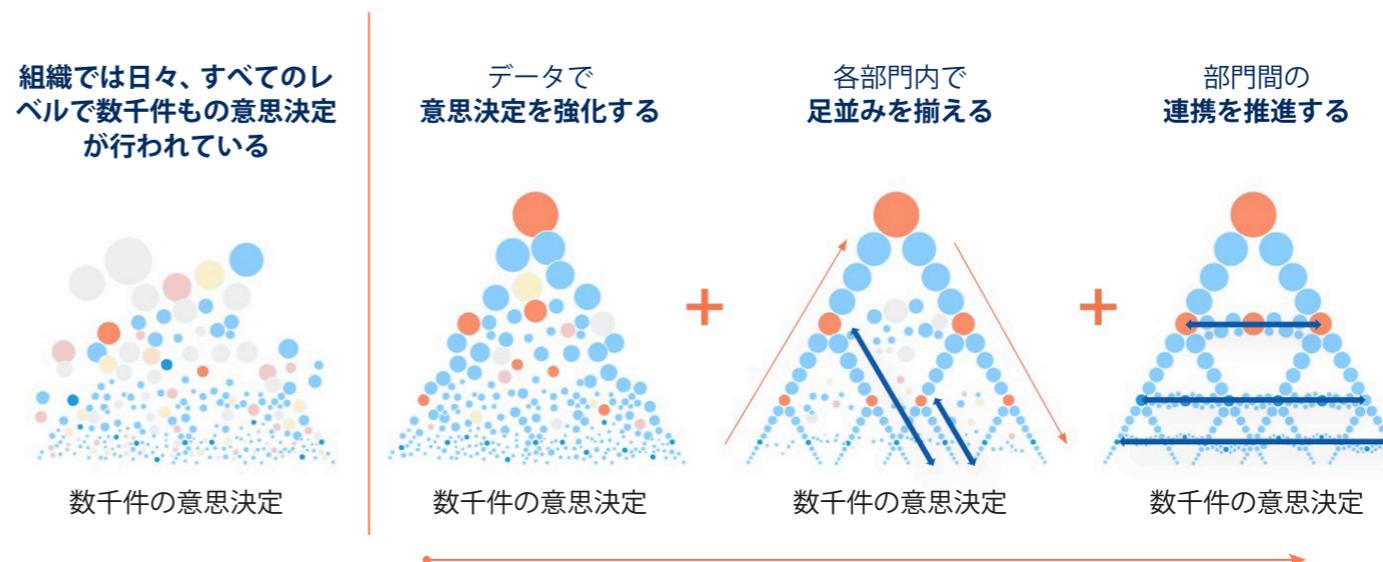
<sup>3</sup>[Coursera Enterprise "Global Skills 2024" report \(英語\)](#)

# 確固としたデータカルチャーの価値

データカルチャーを構築する道のりは困難に思えるかもしれませんが、適切な戦略があればデータとAIの活用に向けた計画を立てることができます。

このプレイブックには、データカルチャーを確立するためのシンプルでありながら効果的なステップが示されています。ビジネスリーダーとITリーダーの方は、どのように人員がデータに基づいたインサイトを活用して意思決定を強化し、最終的には組織の確固としたデータカルチャーの価値を実現できるかを知るためにご活用ください。

# データカルチャーが強化する**効率、信頼性、成果**



データカルチャーの構築は直線的に行われるのではなく、進化し続ける生き物のようなものであることを念頭に置いてください。このプレイブックの各ステップは、データカルチャーの構築時とその確立後の両場面で実行して繰り返すことができます。

それぞれの章では、ヒントとなるケーススタディと目標の達成に役立つチェックリストも取り上げています。

**データカルチャーを構築することでAIのレジリエントな基盤を確立し、未来に向けて投資しませんか。それでは始めましょう。**



## 第1章:

# データ + AI 戦略を策定 する



## 戦略の出発点は人

データはあらゆる AI 戦略の柱です。AI の可能性を最大限に引き出すための鍵となるのは、質の高い信頼できるデータが利用できる人を増やすことです。そして、それを支援するのが確固としたデータカルチャーです。それにより、データを活用した組織全体の成功を支えるために適切なテクノロジーやプロセス、インサイトが利用できる人を増やすことができます。

# 78%

ビジネス上の優先事項への取り組みをデータで進めることに組織が苦慮していると回答した分析や IT のリーダーの割合<sup>4</sup>

# 85%

AI の進歩によりデータ管理が優先度の高い戦略になるという考えに同意または強く同意した回答者の割合<sup>5</sup>

<sup>4</sup>Salesforce 『データとアナリティクスの最新事情』、2023

<sup>5</sup>Salesforce 『データとアナリティクスの最新事情』、2023

# AI の力を活用したデータガバナンスの核となる要素

## 3 能力 (テクノロジー)

どのプラットフォームとアプリケーションならデータガバナンスフレームワークを支えられるか?

どのようなインテリジェントで再利用可能な統合ツールが、セキュリティや連携、行動の推進に役立つか?

[AI を活用したデータと分析に基づいて行動できるか?](#)



## 1 変革管理 (人)

ステークホルダーは連携しているか?

ステークホルダーはデータカルチャーの成功に向けた模範的な行動を見せているか?

適切なスキルが組織にあるか?

スキルとデータ精通度を高めるために、コミュニティをどう活用しているか?

## 2 フレームワーク (プロセス)

ルールやプロセスの面で理想像はどのようなものか?

アクセスを維持しながら、データのプライバシーとセキュリティをどのように確保するか?

データ品質、メタデータ管理、データ認証に関してどのような標準を策定しているか?

## ソリューション

### データ戦略

AI の信頼性の不足を補い、組織全体でデータの幅広い利用を促すには、データ戦略を策定する必要があります。データ戦略の策定により、業務効率と収益を高められる態勢が整います。

実践的なインサイトを引き出すための鍵とは、信頼できる分析環境と AI の力を結びつけることです。そして AI の力があれば、実践的なインサイトの活用を大規模に引き出す鍵となるのは [信頼できる生成 AI](#) をプラットフォーム全体に導入することです。テクノロジー投資を最大限に活用するとともに、ビジネス戦略を推進し顧客からの信頼を強化するチャンスを見出すために、分析環境と AI を、データスキルを持つ人員と結びつけて、ワークフローの中で AI によるインサイトを取得できるようにしましょう。

### データリーダー / IT リーダーが得られる AI のメリットトップ 5

1. ビジネス上の意思決定の加速
2. 業務効率の向上
3. 重要な業務に充てる時間の捻出
4. ワークフローの自動化
5. 顧客満足度の向上

## 強力なデータ + AI 戦略を策定するには

効果的な変革管理計画にするには、継続的な啓発、教育、確固としたデータカルチャーを推進するよう、組織全体の人員にどう働きかけるかを詳細に決めておく必要があります。まず初めに、運営コミュニティまたはセンターオブエクセレンス (CoE) を組織するために、部門の枠を超えたチームのメンバーを決定しましょう。このチームの役割は次の通りです。

- 生産性の向上、顧客理解の強化、手作業の削減、目指すビジネス成果の達成をデータと AI で図れる、ビジネス目標やビジネスベンチマークを明確にする
- ユースケースをリストアップし、クイックウィンを選定する
- ビジネス目標とパフォーマンス指標 (OKR) を設定し、調整する

この体制を確立すると、組織全体の人員に浸透させたい行動や考え方を明確にした変革管理計画を策定することができます。まず、ステークホルダーが取り組んでおり、何をすべきかわかっていることを確認しましょう。そして、下記を目的として実行に移すことになる具体的なステップに取り組みます。

- コミュニティをトレーニングして、データと AI のスキルを身につけさせる
- データガバナンス委員会を設置する
- データ成熟度モデルの現実的な目標を設定する
- 頻繁なフィードバックループで学び、改善する

「AI で引き起こされている変革はあまりに大きく、データチームを通じて対処するだけでは足りません。また重要性も極めて高く、他のデータインフラストラクチャのプロジェクトが対応するまでより広範な導入の開始を待つ、ということもできません。事業部門は行動に移そうとしています。この変革の波に乗るべきです。乗らずにサイロ化しようとするれば、ビジネスとの関わりを失ってしまうでしょう」

DELIVERY LAYER 社 創業者、CEO  
SOLOMON KAHN 氏  
データリーダーシップコラボレーティブ  
諮問委員会委員



# 顧客エンゲージメントとデータ信頼性の低さ

顧客はますます AI を日常生活の一部にしつつありますが、その利用には入り交じった感情も抱いています。

**一般の人々の 74% は AI の非倫理的な利用を懸念しており、63% が AI のバイアスを懸念しています<sup>6</sup>。**

## AI への信頼を阻む主なハードル

- 1 **問題点:** 分析エコシステムの分断  
**原因:** データのサイロ状態、ワークフローとの統合不足
- 2 **問題点:** データや AI の質に対する信頼不足  
**原因:** 信頼できる単一のデータ源がない
- 3 **問題点:** データ所有者や責任が不明確  
**原因:** データガバナンスの責務が定まっていない
- 4 **問題点:** インサイトが表に出てこない  
**原因:** データが見つげにくい、役割に基づいたアクセスがしにくい
- 5 **問題点:** データと AI のスキルが不足  
**原因:** データの精通度や利用度が低い

<sup>6</sup>Salesforce 『データとアナリティクスの最新事情』、2023

## ケーススタディ

# JPMorgan Chase

グローバル金融サービス企業の JPMorgan Chase は、従業員の間でデータカルチャーを育むことにより、イノベーションの加速とカスタマーエクスペリエンスの強化を図り、規制の厳しい業界でインサイトに基づく意思決定を全社で行えるようにしています。



## 行える取り組みのステップ

- 1 社内でデータコミュニティまたはセンターオブエクセレンスを組織します。
- 2 意思決定とビジネスプロセスでデータを優先させます。
- 3 データに関する問題の根本原因を把握、理解し、解決するための計画を立てます。
- 4 [データガバナンス](#)の核となる要素（フレームワーク、変革管理、ツール）を整備します。
- 5 データに基づいた行動を実践し、ビジネス成果に向けてデータ、分析、AI を活用します。
- 6 リーダーが集まって交流し学び、データに基づいた組織の構築で互いに支援し合う場の [データリーダーシップ コラボレーティブ \(DLC\)](#) (英語) に参加します。

## 第2章:

# データの価値を実現できるようにチームをサポートする



## スキル不足を補い信頼できるツールを提供する

データを最大限に活用するには、テクノロジーだけでは足りません。あらゆるレベルでデータ精通度を高めることで、人員はデータとAIの信頼できるツールをうまく利用し、実践的なインサイトを生かして意思決定を改善できるようになります。

# no. 1

の課題は、AIの人材とスキルが組織で不足していることとITリーダーが認識<sup>7</sup>

# 24%

この重要なスキル習得を企業戦略に組み込んでいる、今日のトップ企業の割合<sup>8</sup>

<sup>7</sup>Salesforce, The AI-IT Disconnect, 2024

<sup>8</sup>BCG, 2023

## データスキルの不足という課題

社内の働き手は、全員がデータの価値を実現するためのスキルやツール、好奇心を持っているのでしょうか。まず間違いなくそのようなことはありません。まずは、インサイトに基づく意思決定の能力に影響を及ぼす可能性がある、スキルと知識不足について人員を調査しましょう。データの効果的な利用に何が欠かせないかを把握するために、現在のスキルを調査して人員のニーズを掴むには、経営陣の同意が不可欠です。

データ分析と AI のスキルに関する人員や組織のニーズを監査、評価するために、ユースケースと従業員の能力を照らし合わせましょう。たとえば、財務アナリストと比べて、プロダクトマネージャーにはデータと AI のどのようなスキルが期待されるのでしょうか。データ成熟度を高めるデータカルチャーの行動(第3章で詳述)に基づいて、現在と将来(理想像)の人員スキルを示す表を作成するといいいでしょう。

データスキル不足への対処を全チームでスピードアップするための支援として、革新的なソリューションを活用することもできます。Tableau Pulse のような Tableau ソリューションで AI を利用すると、データ分析を民主化し、規模に応じたインサイト活用をシンプルに行えるようになります。これにより、価値創出までの時間が短縮され、スマートな提案と Tableau 内で提示されるガイダンスの機能でデータアナリストの反復作業も省くことが可能です。Tableau の AI は Einstein Trust Layer 上に構築されているため、組織はデータのセキュリティとプライバシーを損なうことなく、信頼できる倫理的でオープンな AI によるエクスペリエンスを実現できます。これが、分析環境と AI の利用を高めながらデータスキルを育成するうえで、きわめて重要な役割を果たします。

<sup>9</sup>Salesforce Digital AI Skills Research, 2023

## ソリューション

### 継続的な学習

変革管理は、人員のスキルや能力を高められる重要な要素です。結局のところ、データや AI のツールに投資しても、人がそれを使うためのスキルを持っているとは限らないためです。そこで重要な役割を果たすのがトレーニングと能力開発です。トレーニングや教育、データコミュニティの関与を通じた継続的な学習で、人員はツールを使うために必要なスキルを身につけることができます。また、それは継続的な投資であり、企業戦略と完全に足並みを揃える必要があります。

このプロセスは2つのステップからなります。まず、[データ精通度](#)と [AI スキル](#)の面で現在の人員をレベルアップする必要があります。それに続けて、データ + AI 戦略に合った人材を発掘し、採用しましょう。

# 60%

AI の台頭と自動化により、データセキュリティのスキルの重要性がさらに高まると考えるピープルリーダーの割合<sup>9</sup>

# テクノロジーとデータ利用への投資

分析環境への投資を最大限に活用し、データの持つ変革的な可能性を引き出すということは、データに触れるあらゆる人がスキルレベルにかかわらずインサイトを見出して行動に移せるということを意味します。つまり、直感や感覚に頼るのではなく、積極的なデータ活用による意思決定を目指すということです。インサイトに基づく意思決定を支えるために、組織の中でユーザー教育の推進、利用度とエンゲージメントの評価、分析環境の利用促進を行いましょ。

AI はわかりやすい言葉による説明を自動ですぐダッシュボードに加えることで、人員のサポートが可能です。この機能により、掘り下げた探索を行える動的なビジュアライゼーションでインサイトの背後にある「なぜ」を知ることができます。[エージェントで実現する自律 AI](#) は、透明性のある予測と推奨に対する信頼や自信をすべての人にもたらしめます。

さらに、Tableau の AI で人員は信頼できる生成 AI も利用できるようになります。Tableau は LLM が処理する機密データをデータマスキングツールで除去し、機密データは Salesforce プラットフォームの外に保存されることも LLM のトレーニングに利用されることもありません。また、応答では有害性やバイアスがないか調べられ、コンプライアンスの監査も行われるうえ、すべてのプロンプトと生成された応答は、外部モデルがプロンプトを処理した直後に消去されます。自社のニーズを考えるうえで、生成 AI のプロセス全体が安全でセキュア、かつ信頼できるようにすることを目標にするといいでしょう。



ケーススタディ

## Staysure

Staysure 社は、データが分断されたサイロ状態の打破、ボトルネックの排除、データ探索の促進、分析精通度の向上のために Tableau Cloud を活用しています。詳しくご覧ください。



### 行える取り組みのステップ

- 1 データと AI のスキルに関する人員や組織のニーズを監査、評価します。
- 2 人材発掘、維持、スキルアップのための実践的なタレントマネジメント計画を策定します。
- 3 人員に適切なツールとデータ利用環境を提供するために投資します。
- 4 人員同士が交流し、データや AI について他者から学ぶことができるように、実践のコミュニティを構築します。

## 第3章:

## データ成熟度を向上させる



## データ成熟度を支えるプロセスを構築する

データ成熟度を高める道を歩んでいる組織では、AI 活用に向けて確実に備えるためのベストプラクティスを見出すことが、データ成熟度を向上させるために必要です。

データ成熟度が高いと答えた回答者は、AI を効果的に活用するために必要な質の高いデータを所有している可能性が **2 倍** になっています<sup>10</sup>。

[Forbes 社](#) (英語) によると、データ成熟度とは組織のデータ利用能力の尺度であると同時に、組織がその能力をどれほどうまく利用できているかも示しています。組織がデータ面で成熟すると、広範な目標を達成するためにデータのリソースを投入できるようになります。多くの場合、これはデータに基づく意思決定に留まらず、組織全体でデータリソースをさらに使えるようにすることも意味します。

データ成熟度と準備度の本質は、成熟曲線で右上に推移する過程と同じ考え方で捉えられ、活用をさらに進め AI に備える能力を高めるといことです。

**Tableau のお客様は、生成と予測のカスタムモデルの構築が 25% スピードアップしたと述べています<sup>11</sup>。**

<sup>10</sup>Salesforce 『データとアナリティクスの最新事情』、2023

<sup>11</sup>出典: 2024 Salesforce Success Metrics Global Highlights. 10 か国の顧客 2,165 社から得られたデータを集計。

# データ成熟度の定義とモデル

AI 活用力は組織の行動とデータ能力に左右されます。能力が高まればデータ成熟度も向上します。言うまでもなく、これは一晩で完了できるプロセスではありません。「1 度やれば終わり」という問題ではないのです。しかし、人、プロセス、テクノロジーの足並みが揃えば揃うほど、組織はデータ成熟度の段階を上がっていき、最終的には人員が組織のためにデータに基づく適切な意思決定を自信を持って行えるようになります。

AI の活用に必要なデータ能力

	データ成熟度低	データ成熟度中	データ成熟度高
データ品質	30%	39%	59%
テクノロジーインフラストラクチャ	36%	40%	57%
AI 戦略	32%	36%	56%
技術系の人材/スキル	33%	36%	56%
ビジネス部門のステークホルダーとの連携	34%	36%	55%
セキュリティ/コンプライアンス能力	32%	39%	55%

## ソリューション

### データ成熟度のベストプラクティス

データ面の成熟に向けたロードマップを進めるには、次のベストプラクティスの導入を検討しましょう。

- 1 成功のモデルを構築し、成功を測定します。**

組織にとってデータ成熟度とはどのようなものか、どのような意味を持つかを定義します。

人、プロセス、テクノロジーの全体で、スキルレベルと能力をベンチマーキングします。

ROI を測定します。使用する重要業績評価指標 (KPI) は、ビジネス業績、分析の生産性、組織的な整合性、コミュニティの満足度、導入度です。
- 2 データソースが、ビジネスプロセスの一部または複数の部分に対応していることを確認します。**

重要な意思決定ポイントに対処するために、分析できる状態の整備されたデータソースを作成します。

大量のデータを集約、セキュリティ保護、処理、整理して、社内の全員が必要な統合データに 1 か所でアクセスできるようにします。
- 3 AI によるインサイトでデータに基づく意思決定を行うカルチャーを推進します。**

データディスカバリーに AI を活用した分析を組み合わせ、生産性を向上させます。

経営陣のステークホルダーに、行動変容と変革管理への予算配分に取り組んでもらいます。

分析を自動化し、データによる連携を推進します。

# データ面の成熟に向けたロードマップを策定する

データ面の成熟に向けたロードマップを成功に導く要素には、分析戦略に関する検討、ガバナンスへの取り組み、アジャイルまたは柔軟な導入、分析をサポートするコミュニティの価値を伝えて推進することなどが挙げられます。

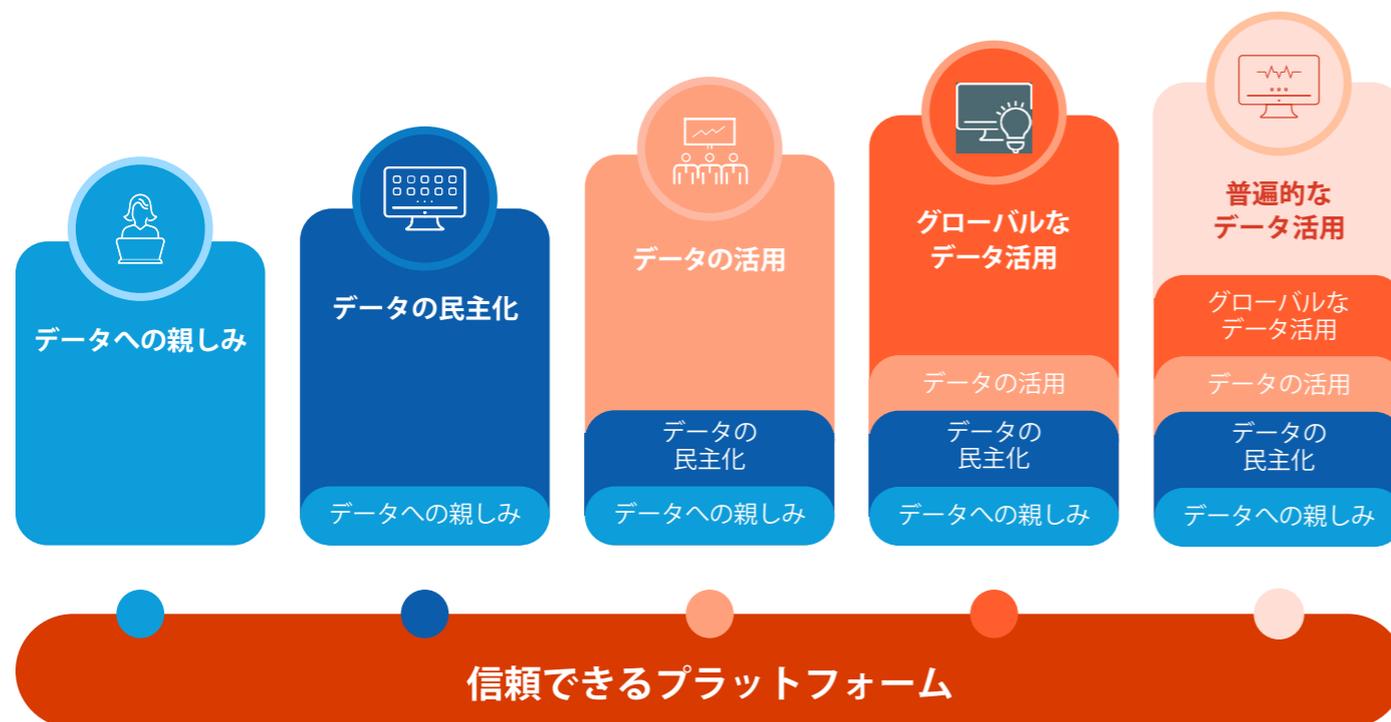
## プロセスの合理化

データプロセスの自動化と強化のために AI の統合について討議する

## 組織カルチャーの変革

データ活用による成功を促し賞賛するコミュニティを構築または支援する

### データと AI への取り組みを加速



## ケーススタディ

# John Lewis Partnership

John Lewis Partnerships 社はデータと AI を活用し、カスタマーエクスペリエンスの変革と収益力の強化を図っています。このビデオで詳しくご覧ください (リンク先英語)。



## 行える取り組みのステップ

- 1 成功のモデルを構築し、成功を測定します。組織にとってデータ成熟度とはどのようなものか、どのような意味を持つかを定義します。
- 2 データソースがセキュリティで保護され、集約されており、利用しやすい状態になっていること、そして重要な意思決定に対処するために、データソースがビジネスワークフローの一部または複数の部分に対応していることを確認します。
- 3 広範にわたるデータディスカバリーに AI を活用した分析を組み合わせて、生産性を向上させるカルチャーを推進します。

# まとめ

Tableau は、組織でデータカルチャーを構築して分析と AI の価値を高めるために必要な、信頼できるデータ、分析、AI、ビジュアライゼーションのツールを提供しています。

データの有効活用に向けた道のりの第一歩を、信頼できる単一の情報源を組織全体に提供できる Tableau プラットフォームで始めましょう。Tableau の AI はお客様のデータを活用してトレンドとパターンを明らかにし、的確で迅速な意思決定を導く実践的なインサイトを見出します。もちろん、既存のテクノロジー投資に影響を与えることも、データのセキュリティやプライバシーを損なうこともありません。

データカルチャーを構築するために、まずはこのプレイブックで示されているステップを確認し、右側に挙げられているリソースをご覧ください。

# 次のステップ



**分析のマンツーマン相談とデモ**  
 少ない労力でデータから成果を引き出せるように支援する製品について、詳しくご説明します。

[デモを予約する](#)

**Tableau の無料トライアルを開始**  
 無制限のデータ探索とディスカバリーを始めましょう。

[Tableau を試す](#)

**オンラインウェビナー**  
 データリーダーを支援する Tableau のイベントやウェビナーにご参加ください。

[今後のウェビナーに参加する](#)



## Tableau from Salesforce について

Tableau は世界をリードする AI 活用分析プラットフォームです。生成 AI と予測 AI の機能に支えられた直感的なデータエクスペリエンスにより、主に業務を行う場所でインサイトを強化します。分析とビジネスインテリジェンスのツールスイートで信頼できるデータから実践的なインサイトを引き出せるため、質の高い意思決定がいつでも行えるようになります。また、お客様のテクノロジーと AI の戦略の発展に合わせてアーキテクチャでご利用いただける、幅広い選択肢と高い柔軟性が特徴です。セキュリティ、データガバナンス、コンプライアンスを念頭に置きながら、データに対する新たな要求が生じても、組織はアジリティを維持することができます。

世界中の組織の独自ニーズを支援することに力を注いでいる Tableau。パートナーと成功のエコシステムは業界最大級です。その一端を担う活発な Tableau コミュニティは、AI の取り組みのあらゆる段階にわたって指導、支援、チャレンジ、称賛という形でお客様をサポートします。Tableau でデータ活用を始めて前進し、限りない未来を手に入れましょう。詳しくは、[www.tableau.com/ja-jp](http://www.tableau.com/ja-jp) をご覧ください。